

聖化

日本聖化交友会機関誌

No. 8

'89. 7. 30



福音的聖化運動の黎明時代

山崎 鷲夫

過去百年間に、日本においてホーリネス信仰を基調とする伝道団体が、どのように根を下ろし、どのように発展したかを歴史的に回想することは、「あなたがたの切り出された岩と掘り出された穴を思い見よ」(イザヤ五一ノ一)とあるように、わが国が史上かつてない大きな曲角にさしかかっている時にこそ必要なことであると思ひ、少し述べて見たい。

シナイ山で仰いだ黎明の暁天に輝く星座は、都会では見られない多くの星に飾られていたが、日本に展開した聖化運動にも、少くとも三つの星座群がある。

一、松江のF・B・バックストーン

英国貴族だったバックストーンは、第二回英国伝道のムーディをケンブリッジに迎えた時に在学中で、その説教を聞いて宣教師として献身して、

はるばる神戸に上陸したのは一八九〇(明治23)年だった。このムーディの働きは英国の海外伝道に大きな影響を与えたと言われる。バックストーンはやがて福音未伝地だった山陰の松江に移り、赤山を根拠に伝道と伝道者養成に力を尽した。少年米田豊が救われ、米田から帰った笹尾鉄三郎を育てて「救いの歌」の発刊を援助し、三谷種吉の「福音唱歌」は松江在住中の作であるから何らかの関わりがあったろうし、一八九七年にはバジェット・ウィルクスが松江に協力者として赴任している。「赤山講話」は、バックストンの奉仕の果として一読すべきである。

二、河辺貞吉と笹尾鉄三郎

河辺貞吉は福岡県の人、一八八五年実業家を志して桑港に滞在中受洗、同地メソジスト教会日本人部の指導

者となり、リバイバル起るや太平洋沿岸の日本人伝道に尽力する。一八八八年慶応義塾を中退してサンノゼの商科大学に入学していた笹尾鉄三郎も入信して、共に日本人伝道に従事、シャトルに居た秋山由五郎もこれに加わる。しかし一八九四(明治27)年、「日本へ行け」との聖声を聞き、笹尾鉄三郎と共に宣教按手礼を受けて帰国、東京は桜田本郷町に借家して「小さき群」として活動を開始したが、一年後にバックストンの招きで松江に移り、翌年五月京都嵐山聖会を開催したのが有馬聖会の始まりである。しかし河辺貞吉は淡路伝道に赴き、日本自由メソジストの働きを開始し、笹尾鉄三郎はバックストンの推薦で、新設の東京中央福音伝道館と併設の聖書学院の働きのため一九〇一年頃東京に移った。

全き聖化

それが私のうちに成る時に

連合ホーリネス中央教会牧師

本間義信

カインはアベルを野原に誘い殺しました。弟アベルの供え物は、主に顧みられたのに、自分の供え物は顧みられなかったからです。カインはアベルに殺意を抱く程にねたみをおぼえました。この恐ろしい思いは、礼拝中に、共に在った兄弟に感じたのです。信仰者である故に体験する罪の思いであり罪の行為でした。パウロが獄中にありました時、ピリピの信者たちに宛てて次のように書いています。「一方では、ねたみや闘争心からキリストを宣べ伝える者がいる」(ピリピ一15)。ねたみで伝道が出来るのですから恐ろしいことです。一時的には生臭い人間的方策がリバイバル的活況を演出するかも知れません。これもまた信者の故の罪なのです。

こうした信者のつまずきに対して「神のみこころは、あなたがあたが清くなることである」(テ

サロニケI四3)とパウロは記し、「わたしたちは心を見分ける神に喜ばれるように、福音を語る」(同二4)と宣べ、私たちを「全き聖化」に招いておられます。

一、全き聖化とは何か。

(1) 聖霊に満たされることによつて、罪の性質(自我)が除去され、愛に満たされることです。つまり主キリストが第一で、私は常に第二となると言ふ順序が確立するのです。

ブレングルは、「いつでも、どこでも、神がなせと仰せられるままをなし、なれと仰せられるままになす心と生活のこと」とあると、全き聖化を定義しています。

(2) それは行為の完全ではなく、「動機の完全」です。受難週間に主イエスはベタニヤのライ病人シモンの家で食卓についておられた時、ラザロの姉妹マリヤが

高価なナルドの香油を主の頭に注ぎかけました。人々は無駄なことをしたと言つて女を責めましたが、主イエスは「この女はできる限りのことをしたのだ」と評価して弁護なさいました(マルコ一四八)。主の喜び給う御評価は、結果の妥当性よりも、主の為に心の限りを尽した女の動機の純粋さに向けられています。

二、どうしたら全き聖化が体験出来るか。

(1) 内住の罪の自覚と全き明け渡しが必要で、私たちがキリストの救いに入れられる段階では、救い、更生、永遠の生命、神の子の特権など一切の恵みは、私の為に備えられており、私の信仰は自分の恵み中心に構成されず、神もキリストも一切自分の為にあると言ふ自分第一の信仰から、この受けた恵みに何とかして応えようとする感謝の

思いが芽生えて来ます。この時、犠牲を求められるような感謝の仕方が示されるとちゆうちよを感じます。この思いが内住の罪の性質です。「神がご自身に従う者に賜わった聖霊」(使徒五32)とありますように、全く主に明け渡し、献身服従した人に、主は直ちに聖霊を満たして下さるのです。

(2) 神のみ旨に飛び込む信仰が必要で、ためらいなく神のみ旨に服従出来る為には、神の全能力と、神の犠牲的愛と、「善にして善を行われる」(詩一一九68)神の摂理への固い信頼が必要で、

三、全き聖化の目的は何か。

聖霊に満たされるときに、全き愛によって占領された者となります。全き愛とは、主が十字架でして下さったと同種の愛、即ち自分自身の為のことは二の

次にして、他者の為に自分の生涯を費す愛のことです。この聖霊の満たしによって、キリストの証人を宣教と教会形成の有用な器とするのであります。

(1) キリストの為ならば、何処へでも遣わされ、そこで死ぬる証し人になります。例えば、サマリヤのリバイバルを導いたピリピが、多くの人が救いを求めて成功しつつある中で、たった一人の救いの為に、淋しいガザ街道に派遣されます。きよめられた証し人は、人の世の誉れも栄えも捨ててただ従います。

(2) キリストの為ならば、自分の持ち場を死守出来る責任感のある信仰者となります。例えばバルナバは、自分の世話し、世の中に引っぱり出したパウロによって追い越され、序列が逆転します。人の毀誉褒貶には一切お構いなく、弟子の育成に努め、自分の持ち場を守りました。

ホーリネス信仰は、全き聖化によつて良心的キリスト教の確立を目指します。即ち①ひとりでも強いキリスト者、②教会のやぶれ口に立って支えるキリスト者、③主の栄光の陰に隠されることに喜んで耐えられるキリスト者を生み出すのが狙いです。

わたしの ペンテコステ

●保谷中町教会牧師●
飯塚俊雄



愛に満たされることだと優しく
さとされ、一筋の光を見出して
落ちついた。

一学期は、示されるままに沢
村先生の前で言い表わし、お詫
びとつぐないの手紙を書く日が
続き、食欲もなくなつた。しか
し「光にさらされたものはみな
光となる」。光の中を歩む者に与
えられる主との親しみは、この
時からのものである。

第二のつまずきは三年目にや
つて来た。夢にまで見た留学の
道が開かれたのである。

恩師アンダーソン先生を通し
て、私の学資を保証して下さる
方が現われた。色めき立って沢
村先生にご相談すると、先生は
何とも言えない表情で「でもね
え」と仰る。私の靈性にどん
なにか痛みを持つておられたか
は今にしてわかることだが、塩
屋の山で神が与えようとしてい
るものを握るとも握らずとも
何かあらん、しっかり学んで本
気でやればいいのだと考える程
度になっていった。

ある日、先生は意を決したよ
うに、「これからの退校は許しま
せん」とクラスで宣言された。
転校した友もいるのに、私のこ
ととなるとどうしてそこまでこ
だわれらるのかと反発の思いが

湧いて来た。その後、先生は私
についての所見をアンダーソン
先生に書かれ、こうして若き日
の留学の望みは全く断られた。

うらむまいことか。私はヨナ
のようにすねて授業中顔も上げ
ないことがあった。しかし、こ
うしたやり方が長つづきするは
ずがない。私のうちにある醜い
ものが一気にふき出した時、私
自身がもはや私自身にがまんが
できなくなったのである。何が
どうなってもいい、ただ清くさ
りたい。

ある月曜日、不退転の意気で
ブレングル中將の「聖潔の栞」
を読み進んだ。切なる渇き、神
への全き献身と確固たる信仰に
よつて、約束の聖霊を待ち望む
べきことが示された。

「冷たい石と死んだ小牛、それ
に注ぎかけられた水が、神の栄
光をあらわし、背信の民を救う
に何の力があるか。すべては
天からの火である。火が降って
すべてを焼き尽す時、人は地に
伏す。そして「主こそ神である」
と叫ぶざるを得ない。

だから、一切を祭壇の上に献
げたまま、永遠にその手を退き、
謙つて神に叫び、信仰の大胆と
信仰の忍耐を以て、神が御霊の
火をもってバプテスマを施しな

さるまで、これを待ち望まねば
ならない。神はその約束を必ず
なしとげたもうお方なのである。

私は祈禱室のオルガンのかけ
に静かに陣どつた。心から悔改
め、砕かれ空しくなつた。どん
なことでもお従いします、と申
し上げた。かつてなかつたよう
な熱い愛がこみ上げて来て、主
よ、愛します、と心から言えた。
やがて、主は私のもの、私は主
のもの、主は私のうちに立ち上
つて下さつたと感じ、信じて受
けとつた。どの位の時が流れた
か、夜も更けていた。そこが私
のヤボクの渡してあつた。

次の日、授業が終るや、私は
沢村先生に部屋までおいて頂き、
非礼をわび、前夜、ヨルダン河
を渡つたことを申し上げた。先
生が、わがことのように喜ばれ
たのは言うまでもない。卒業後、
私は欣然と郷里の開拓伝道にと
び込んだ。そして十二年の後、
主は改めて実り多い留学の道を
与えて下さつた。

今日私は「私は十字架に、
キリストは私の内に」の奥義で
生かされている。「自我の磔殺に
基づく、聖霊の内住」こそは、
円熟と完成への毎日のテーマな
のである。

バルトやブルンナーを聞きか
じりながら、知的なものに憧が
れていた十代の頃、私は光の中
で苦しみながら罪の告白をした
り、具体的な償いをするという
ような導きを受けないままに、
宣教師のヘルパーとなり、当然
のことのように献身してしまつ
た。

日本キリスト教団も東北の畑
で穫れた私がどうして神戸の神
学校までやって来たのか、今考
えても不思議としか言いがた
ない。

入信後まもなく私に教いとは
これだとわからせてくれたあの
一冊、「キリスト教案内」。その著

者、沢村五郎の名が心の隅にあ
つたのか、ルツがはからずもポ
アズの畑に足をふみ入れていた
ように。昭和二十九年四月、そ
の頃存じ上げた森山論先生に連
れられて塩屋の山にのぼり、沢
村先生の温客に接した。

しかし、入学第一日目にして、
つまずきは来た。第一限りに登
場したのはにやけ顔の教師（私
は本田先生を全く誤解していた）。
「天からの火」という聞きなれ
ぬことばで熱烈に祈るその夜の
祈禱会。もはや自分の居る所で
はないと腹をきめて部屋に戻つ
た。同室の先輩から、きよめと
は内に住んで下さるキリストの

第一回仙台大会を終えて

イムマヌエル仙台教会牧師 田中敬康

東北の地にも六月の中旬より梅雨の季節が訪れて、恵みの雨がふりそそいでいる。今年はい前より願っていた聖化大会がいに仙台の地にもゆるされ、参加した教会と信徒一同が主の豊かな祝福にあずからせて頂き、主と御愛労を頂いた講師の本田弘慈師、小林和夫師、岸田馨師に感謝を申し上げる次第。そこで、ここにまで至った経過を報告させて頂くことにする。

歴史的にはキリスト教の働きが長い割には、福音派の協力体制が困難であったこの地に、丁度二年前に「世の光」の放送伝道の開始を通して主が福音派の四十余の教会に一致と協力の心を与えて下さり、経済的的必要も協力教会の献金によって満たしていただき、過去二回の十二月二十五日の「世の光」市民クリスマスも六百名、八百名の集会がもたれるまでに至っている。こ

会献金と六月九日の大会の集会献金で充当する。組織は会長、書記、会計を役員とする。案内は、「全的聖化」を告白する県下の十三教会と仙台地区福音主義牧師会に加入している諸教会にする。以上の事が決まり、祈りと活動が開始した。五月二三日（火）の「仙台大会のための決起集会」では、五人の牧師によって短かいながら明確な聖潔の証詞がなされ、奨励と禱告の時もたれた。六月九日（金）は、午前十時半より婦人大会で、小林師の幸いなきよめの証詞と本田師の力づよいメッセージ（一テサ四・三より「聖潔の必要」）が取り次かれ、恵みの座がもうけられた。午後二時よりはセミナーで、小林師より「救いの順序とJ・ウェスレーの聖化観」についてわかりやすい講演を頂いた。夜七時よりの大会には、岸田師の真実な聖潔の証詞と本田師がエゼ三六章より力あふるる明快なメッセージを語られ、多くの人々が恵みの座に溢れた。出席者はのべ百八十余名であった。大会当日の献金も十八万円余与えられ、感謝のうちに閉じられた。来年度は、九月七日（金）の予定である。この小群のため御祈りと御教導を乞う次第である。

総務リポート

■日本聖化交友会としての活動は、草の根活動に等しいものでありたいと願っております。すなわち、大会や聖会を開くことが最終的な目的ではなく、個々の教会で聖化の恵みが強調され、すべてのキリスト者が「聖められた者」として生活することにより、聖化の証しが立てられることにあります。

■各地の聖化大会が、これを励ますものとして開催されています。これは、大きな慰めであり、励ましてあります。どうぞ、それぞれの聖化大会にご参集くださり、聖化の火を高々と掲げてくださるようお願いいたします。

■秋の第四回聖化大会（十月二三日、二四日）のために、主講師として、趙鐘男博士、（ソウル神学大学学長の来日が決定しております。ご期待ください。

日本聖化交友会(JHA) 第4回 聖化大会

- 10月23日、24日(月・火) 東京 名古屋 大阪
 - 10月26日(木)
 - 10月27日(金)
- *J. ウェスレーに学ぶ会
講師 John C. Cho 博士 他

●各地区聖化大会

- 仙台大会 6月9日(金)
- 岡山大会 6月28日(水)
- 札幌大会 8月21日(月)
- 旭川大会 8月22日(火)
- 熊本大会 11月28日(火)

●お祈りください。 ●ご参加ください。